

平成13年度環境監視結果年報の概要

1 結果取りまとめの期間

平成13年4月から平成14年3月まで

2 環境監視の項目

大気質、騒音・振動、悪臭、海水の流れ及び水質、底質、海域生物、鳥類

3 結果の評価

(1) 評価の主体

空港島及び対岸部工事中の環境監視に関する検討委員会（委員長：北野康
名古屋大学名誉教授）

(2) 評価の考え方

環境監視の結果と、環境基準値や規制基準値との比較、過年度調査結果などとの比較で、工事の実施が周辺地域に与える環境影響の程度を把握することにより、評価がなされている。

(3) 評価の内容（総合評価）

環境基準値や規制基準値等と比較した結果、大気質、騒音・振動、悪臭及び水質については、次の場合を除いて、環境基準に適合するか環境基準値または規制基準値等以下であった。

- ・ 一般環境大気質の二酸化硫黄（ SO_2 ）、浮遊粒子状物質（SPM）については、短期的評価で環境基準に適合していなかったが、二酸化硫黄（ SO_2 ）の1時間値が0.1ppmを超えたのは工事以外の要因によるものと推定され、浮遊粒子状物質（SPM）の状況は着工前の平成10～11年度と同様であった。

- ・ 水質の項目のうち濁り（SS）については、水産用水基準を超える場合があったが、そのうちの約半分は自然要因によるものであった。

自然要因以外によるものとしては、陸域に近い監視点SK1、SK2において、航路浚渫工事に伴うものと思われる濁りも確認されたが、浚渫工事の中止等施工調整がなされ、濁りが継続していないことを確認した。

また、要因が特定できなかった場合においても濁りが継続していないことを確認している。このように、自然要因以外の濁りについては、適切な対応がとられていた。

- ・ 水質の項目のうち化学的酸素要求量（COD）、全窒素（T-N）、全燐（T-P）については、監視点TS5の化学的酸素要求量（COD）、TS6の全燐（T-P）以外は、環境基準値を上回っていたが、愛知県が実施した公共用水域等調査結果と比較した結果、ほぼ同様な傾向にあった。

さらに、全ての項目について、過年度データとの比較（着工後と着工前とのデータ比較）をした結果、次の場合を除いて、着工前後において値や出現状況にはほとんど変化がなかった。

- ・ 大気質の二酸化硫黄（ SO_2 ）については、三宅島火山から放出された火山ガスの影響のため、着工前と比べて、日平均値の月間最高値が年度前半で高い月が多かった。

- ・ 海水の流れについて、空港島南の小鈴谷沖監視点では上層の流速が若干小さい傾向がうかがえたが、水質は監視点 TS1、TS2 において 6 月の硝酸態窒素 (NO₃-N) が河川水による影響により一時的に高かったことを除けば、ほぼ同様な傾向であった。
- ・ 底質について、監視点 TS4、TS5 において粒度組成、全硫化物、全窒素 (T-N) に変化がみられたが、一時的な変化であり、その他の監視点においてはほとんど変化はみられなかった。

以上より、平成 13 年度の環境監視結果では、全体としては工事に伴う環境への影響は認められなかった。

なお、平成 13 年度の評価を踏まえ、平成 14 年度以降については、次の事項に配慮していく必要がある。

- ・ 今後の陸上輸送の状況に応じて、道路沿道に対する環境影響（騒音・振動）を適切に把握できるような環境監視を実施する。
- ・ 底質、海域生物及び鳥類については、今後も環境監視計画に基づきデータを蓄積し、その変化に注意して監視を継続する。

4 今後の対応

(1) 適切な環境監視の実施

今後の工事の進捗に応じて、引き続き環境監視を実施していく。

特に、評価のなかで指摘を頂いた次の事項についても対応していく。

道路交通騒音・振動

工事作業員の一部を海上輸送したり、中継基地を設けてパークアンドライドを取り入れることを図るとともに、平成 14 年度から国道 155 号線の知多市南浜町地点において道路交通騒音の環境監視を追加実施する。

底質、海域生物、鳥類について

今後とも環境監視計画に基づき、中長期的な視点から底質、海域生物、鳥類の変化に注意して適切な監視を継続していく。

汀線について

平成 13 年 12 月に護岸が概成し、将来的な土地の形状が固まったことから知多半島西岸域において平成 14 年度から環境監視計画に基づいた汀線調査を開始する。

(2) 環境監視結果年報の公開

環境監視計画に基づき、事業が及ぼす環境への影響に関する理解の促進に努めるため、インターネット等を通じて広く一般に公開する。

<http://www.pref.aichi.jp/jigyo/>

<http://www2.cjiac.co.jp/kankyo/>

(参考)

空港島及び対岸部工事中の環境監視に関する検討委員会構成員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員長	区分
吉久光一 よしひさこういち	細川恭史 ほそかわ やすし	工藤盛徳 くどう せいとく	北田敏廣 きただ としひろ	小笠原昭夫 おがさわら あきお	岩田好一朗 いわた こういちろう	北野康 きたの やすし	氏名
名城大学理工学部建築学科教授	国土交通省国土技術政策総合研究所沿岸海洋研究部長	東海大学海洋学部水産学科教授	豊橋技術科学大学エコロジー工学系教授	愛知女子短期大学非常勤講師	名古屋大学大学院工学研究科教授	名古屋大学名誉教授	役職等